Double Standard

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社ダブルスタンダード	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3925	URL	https://double-std.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役	（氏名）	福永　康寛
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員管理部長	（氏名）	和田　光伸　　(TEL) 03-6384-5411
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,222	38.0	766	0.5	767	0.1	476	△6.8
2026年３月期中間期	3,060	△16.1	762	△35.3	766	△35.0	511	△37.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　476百万円（△6.8%）　2026年３月期中間期　511百万円（△37.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	35.23	―
2026年３月期中間期	37.81	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	6,988	6,209	88.9
2026年３月期	7,383	6,679	90.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　6,209百万円　2026年３月期　6,679百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	70.00	70.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	2.7	1,800	4.6	1,760	4.0	1,197	8.1	88.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	13,580,000株	2026年３月期	13,580,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	64,154株	2026年３月期	64,154株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	13,515,846株	2026年３月期中間期	13,515,846株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その業績を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間連結会計期間の経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間連結会計期間の経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇による個人消費への影響や中東情勢をはじめとする地政学的リスク、通商政策など米国の政策動向、金融資本市場の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス業界においては、企業が保有する多様なデータの活用や情報セキュリティ対策の強化、ITインフラの高度化に向けた投資に加え、生成AIをはじめとする先進技術の活用が進展しています。また、人手不足を背景に業務の自動化・省力化や生産性向上への関心が高まるなど、企業の競争力強化や業務変革に向けたDX関連投資への需要は、引き続き堅調に推移しています。

このような事業環境のもと、当社グループは、顧客企業の業務負荷軽減や生産性向上に資する各種サービスの提供を推進し、新規顧客の獲得および既存顧客との取引拡大に取り組みました。前期から順調に新規顧客との取引が増加しており、顧客基盤の拡充が進んだほか、今後の事業成長を見据えた新サービスの開発や新規案件の受注に向けた営業活動にも注力しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高4,222百万円と前年同期と比べ1,161百万円（38.0％）の増収、営業利益766百万円と前年同期と比べ３百万円（0.5％）の増益、経常利益767百万円と前年同期と比べ０百万円（0.1％）の増益、親会社株主に帰属する中間純利益476百万円と前年同期と比べ34百万円（△6.8％）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は5,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ817百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当等による現金及び預金の減少827百万円によるものであります。

また、当中間連結会計期間末における固定資産は1,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ423百万円増加いたしました。これは主に、本社移転に伴う建物の増加203百万円、敷金及び保証金の増加197百万円によるものであります。

この結果、総資産は6,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は682百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が265百万円減少した一方、未払法人税等の増加142百万円及び未払消費税等の増加99百万円によるものであります。

また、当中間連結会計期間末における固定負債は96百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務の増加39百万円によるものであります。

この結果、負債合計は779百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は6,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益476百万円の計上があった一方、剰余金の配当が946百万円あったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より827百万円減少し、4,458百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は538百万円（前年同期は349百万円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の減少265百万円及び法人税等の支払額99百万円がありましたが、税金等調整前中間純利益706百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は421百万円（前年同期は２百万円の減少）となりました。これは主に、本社移転に伴う有形固定資産の取得による支出212百万円、敷金及び保証金の差入による支出197百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は945百万円（前年同期は811百万円の減少）となりました。これは、親会社による配当金の支払額945百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に「2026年３月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績見通しに変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,286,741	4,458,906
売掛金	821,367	799,157
仕掛品	71,397	103,545
前払費用	141,238	205,980
その他	64,946	317
流動資産合計	6,385,691	5,567,907
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	267,619	470,939
工具、器具及び備品（純額）	30,217	62,095
土地	250,714	250,714
有形固定資産合計	548,551	783,749
無形固定資産		
ソフトウエア	65,042	66,851
のれん	226,523	209,744
その他	1,613	1,442
無形固定資産合計	293,179	278,038
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	58,794	64,898
敷金及び保証金	96,708	294,215
その他	264	―
投資その他の資産合計	155,768	359,114
固定資産合計	997,499	1,420,901
資産合計	7,383,191	6,988,809

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	421,113	155,626
未払金	14,056	70,004
未払費用	27,915	20,877
未払法人税等	105,598	248,341
未払消費税等	65,635	165,478
前受金	―	1,240
その他	15,009	21,342
流動負債合計	649,328	682,912
固定負債		
資産除去債務	―	39,598
退職給付に係る負債	13,340	13,547
役員退職慰労引当金	41,062	43,137
固定負債合計	54,402	96,282
負債合計	703,731	779,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	263,778	263,778
資本剰余金	142,455	142,455
利益剰余金	6,368,426	5,898,580
自己株式	△95,199	△95,199
株主資本合計	6,679,460	6,209,614
純資産合計	6,679,460	6,209,614
負債純資産合計	7,383,191	6,988,809

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,060,936	4,222,732
売上原価	1,709,421	2,837,295
売上総利益	1,351,514	1,385,436
販売費及び一般管理費	588,725	618,739
営業利益	762,789	766,697
営業外収益		
受取利息	4,322	6,052
その他	982	437
営業外収益合計	5,305	6,489
営業外費用		
寄付金	1,775	5,840
その他	0	343
営業外費用合計	1,775	6,183
経常利益	766,318	767,003
特別損失		
事務所移転費用	―	60,745
固定資産除却損	19,841	―
特別損失合計	19,841	60,745
税金等調整前中間純利益	746,477	706,258
法人税、住民税及び事業税	220,522	236,099
法人税等調整額	14,919	△6,104
法人税等合計	235,442	229,995
中間純利益	511,035	476,263
親会社株主に帰属する中間純利益	511,035	476,263

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	511,035	476,263
中間包括利益	511,035	476,263
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	511,035	476,263

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	746,477	706,258
減価償却費	25,195	26,291
のれん償却額	16,779	16,779
受取利息及び受取配当金	△4,322	△6,052
固定資産除却損	19,841	―
売上債権の増減額（△は増加）	233,829	22,209
仕掛品の増減額（△は増加）	△32,733	△32,147
前払費用の増減額（△は増加）	△44,758	△64,741
仕入債務の増減額（△は減少）	△58,664	△265,487
未払金の増減額（△は減少）	△21,299	55,869
未払費用の増減額（△は減少）	△880	△7,037
前受金の増減額（△は減少）	△13,779	1,240
未払消費税等の増減額（△は減少）	△59,172	164,077
その他	△2,413	14,668
小計	804,098	631,928
利息及び配当金の受取額	4,322	6,052
法人税等の支払額	△458,705	△99,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,715	538,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△503	△212,680
無形固定資産の取得による支出	△4,538	△11,191
敷金及び保証金の差入による支出	―	△197,507
その他	2,700	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,342	△421,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△811,431	△945,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△811,431	△945,388
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△464,058	△827,834
現金及び現金同等物の期首残高	5,346,541	5,286,741
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,882,483	4,458,906

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、「WEBマーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、「WEBマーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。